

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第614号（平成28年2月17日発行）

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PT 次回WG開催のお知らせ
2. 平成27年度 調査・研究部会開催のお知らせ
3. 国際資源循環勉強会（仮称）開催のお知らせ
4. NP0法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ2月号のお知らせ

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 中部地整が伊勢湾BCPを策定
 2. 八戸港沼館地区で干潟整備、海辺づくりを考える検討会
 3. 尾道系崎港の百島海老呑地区、干潟造成の潜堤工事着手
-

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成28年2月25日（木）

13:00～14:00 WG⑥

14:00～15:00 WG①

15:00～16:00 WG③・④

場所：みなと総研 3階 会議室

（WG②は開催しない。）

2. 平成27年度 調査・研究部会開催のお知らせ

平成27年度の調査・研究部会を下記日程で開催しますのでお知らせします。

記

日時：平成28年3月1日（火）14:30から1時間程度

場所：（一財）みなと総合研究財団 3F 会議室

* 部会終了後、下記の国際資源循環勉強会及び意見交換会を開催します。

3. 国際資源循環勉強会（仮称）開催のお知らせ

国際資源循環勉強会（仮称）を下記日程で開催しますので皆様のご参加をお待ちしております。

(詳細については添付の開催案内をご覧ください)

★参加希望の方は添付の申込用紙にご記入の上、メール又はFAXにてお送りください。

★調査・研究部会員の方は、別途メールにてお送りしている申込書にてお申し込みください。

記

日 時：平成 28 年 3 月 1 日 (火)

RPPC 国際資源循環勉強会 (仮称) . . . 16:00 から 1 時間程度

講 師：一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

～ (仮) 日本の鉄スクラップ輸出環境の変化と展望 ～

場 所：(一財)みなと総合研究財団 3F 会議室

※国際資源循環勉強会 (仮称) 終了後「意見交換会」を予定しております。

意見交換会参加費：1,000 円/人※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

4. NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ 2 月号のお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターから NPO 法人発信のメルマガ 2 月号が届きましたので、皆様にお知らせします。添付のメルマガ 2 月号をご覧ください。

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 中部地整が伊勢湾BCPを策定

中部地方整備局港湾空港部は 2 月 5 日、国関係機関、港湾管理者、経済団体、民間事業者等で構成する「第 4 回伊勢湾港湾機能継続計画検討会議」を開催した。伊勢湾内の広域連携により緊急物資輸送や港湾物流機能の早期回復を実現することを目的とした「伊勢湾港湾機能継続計画 (伊勢湾BCP)」を策定した。

今回策定した伊勢湾BCPは、港湾相互の連携を踏まえた伊勢湾全体の課題への対応策を整理したもので、伊勢湾の広域連携体制の構築、広域連携課題への対応、港湾物流機能に関わる関係間の情報共有について、基本的な考え方と各関係機関の役割等を定めている。南海トラフ巨大地震・津波を対象災害とするが、大規模台風による高潮災害等についても準用できる。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 八戸港沼館地区で干潟整備、海辺づくりを考える検討会

東北地方整備局八戸港湾・空港整備事務所は、八戸港沼館地区で干潟整備を計画している。2 月 4 日に開催した第 3 回目の「八戸港の海辺づくりを考える検討会」で計画案を示した。

八戸港は馬淵川からの流入土砂により航路・泊地の浚渫が不可欠だが、浚渫土砂の有効活用を通じて人と海のふれあいの場を創出することを目的に、同検討会が人工干潟造成の検討を行ってきた。

干潟造成面積は護岸前面の約 1000 平方mを予定。人が活動しやすい干出域 (潮上帯～潮間帯) を確保しつつ、アサリの生息域 (潮間帯～潮下帯) を出来るだけ広くとれるよう、現地盤を掘削して土砂を投入する。

【港湾空港タイムス】

3. 尾道糸崎港の百島海老呑地区、干潟造成の潜堤工事着手

中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所は、尾道糸崎港の百島海老呑地区で干潟造成のための潜堤工事に着手している。同地区では機織地区水深12m泊地等の整備に伴う浚渫土砂を活用して干潟を造成する。

最初の工事は潜堤の海上地盤改良工（敷砂）で、昨年12月に発注した。工事概要は敷砂が502・5m。また、2件目の工事を現在手続き中で、3月に開札する。工事概要は敷砂が226m。

潜堤は全体計画延長が約1100m。工事手順は海底に厚さ1mの敷砂をしてから、SCP（改良率25%）で地盤改良を実施し、その上に捨石を築造していく。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####

「RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）」の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、リサイクルポート推進協議会活動にご協力頂き誠に有り難うございます。

この度、一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会のご協力のもと、韓国等の東アジア諸国の鉄スクラップ事情を展望し、日本における鉄スクラップ輸出環境（港湾施設整備等の必要性を含む）を考える「RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）」を下記により開催いたします。

なお、勉強会は調査・研究部会活動の一環として開催いたしますが、国際資源循環に興味をお持ちのRPPC会員の参加をお待ちしております。

参加希望の方は添付ファイルに所定事項を記入の上、2月22日（月）までに事務局宛てにメール又はFAXにてご連絡下さい。

記

RPPC 国際資源循環勉強会（仮称）

～（仮）日本の鉄スクラップ輸出環境の変化と展望～

講 師：一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

日 時：平成28年3月1日（火）16:00 から1時間程度

場 所：みなと総合研究財団 3F 会議室

※国際資源循環勉強会（仮称）終了後「意見交換会」を予定しております。

意見交換会参加費：1,000 円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

★参加を希望される方は以下の申込用紙にご記入の上、2/22（月）までにメール又はFAXにてお申し込み下さい。

申込先：リサイクルポート推進協議会 事務局 担当：本野・井手・榎並

FAX：03-5408-8741 E-Mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

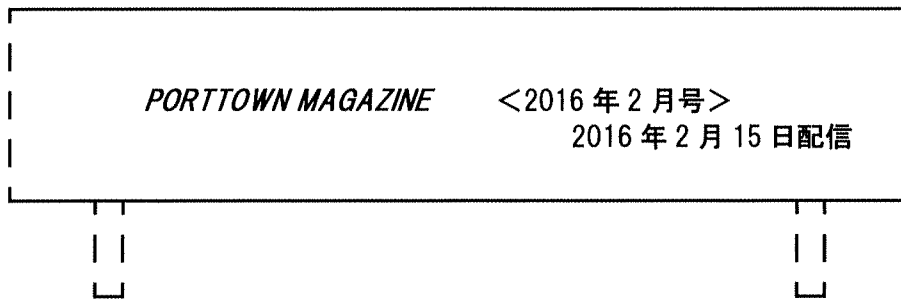
.....
勉強会 参加 • 不参加
意見交換会 参加 • 不参加 ※○をご記入ください

参加者のお名前：ふりがな _____

ご 所 属： _____

電 話 番 号： _____ FAX： _____

E - m a i l： _____



みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今年も日本海側リサイクルポート、能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思います。それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

////// I N D E X //////////////////////////////////////

① 能代港ニュース

- ・能代港の将来像を描く「これからの能代港」シンポジウム開催
- ・「春の洋らんフェア」開催 ～能代エナジウムパークにて～

② 酒田港ニュース

- ・石巻～酒田間地域高規格道路の開通目指して。
- ・「見て、泊まって、食べて」酒田刺獅子十六発見伝 酒田まちあるきスタンプラリー開催！

③ 姫川港ニュース

- ・糸魚川ジオステーション「ジオパル」2～3月イベントのご案内。

④ 境港ニュース

- ・境港市出身 水木しげるさん顕彰、新年度事業展開へ。

⑤ 編集後記

■ 能代港ニュース

○ 能代港の将来像を描く「これからの能代港」シンポジウム開催

能代市は2月4日(木)、「これからの能代港」と題したシンポジウムを開催しました。能代港の特性である「リサイクルポート」と「エネルギー拠点化」の2つをキーワードに、能代港の将来像を描く足がかりにしようと開催したもので、港湾、再生可能エネルギー関連の企業や市民ら約100人が出席し、能代港の潜在能力と利活用の向上方策に理解を深めました。

基調講演1では、城西国際大の神田教授から物流効率化の観点に基づく数々の助言をいただいたほか、講演2では、秋田県産業労働部の土谷新エネルギー政策統括監から風力や水素が持つ可能性について語っていただきました。

講演に続いて行われたパネルディスカッションでは、能代港の将来像について夢のある意見が交わされました。参加者からは、「能代港の秘めた可能性を認識し、今後の事業展開のヒントが得られた」などの感想が聞かれました。

○ 「春の洋らんフェア」開催 ～能代エナジウムパークにて～

3月5日から3月13日まで能代エナジウムパークカルチャーホールにて「創造」をテーマに、ファレノプシス・バンダ・オンシジウム・カトレア・デンドロビウム・シンビジウムなど多種多様な洋らんを用いたディスプレイ展示を行います。また、メインの企画展示を囲む形で、能代エナジウムパーク洋らん友の会会員の洋らんを展示いたします。

入場無料!!皆さん、是非お越しください!

下記の日程でミニ講習会も開催します。

<ミニ講習会>

日程：3月 6日(日) / 13:00～14:00 「らんの魅力について」

3月13日(日) / 13:00～14:00 「らんの栽培について」

会場：はまなす館

講師：田口洋蘭園園長 田口 俊男 氏(宮城県多賀城市)

詳細はNPO法人能城観光協会のホームページをご覧ください

http://welcomenoshiro.com/?post_type=schedule&p=4953

■ 酒田港ニュース

○ 石巻～酒田間地域高規格道路の開通目指して。

2月2日(火)、本市と宮城県石巻市を結ぶ「石巻・酒田間地域高規格道路」の早期整備を目指し、沿線市町村やその商工会議所などの関係団体と宮城・山形両県に関わる国会議員による懇談会が東京で開催されました。

懇談会では「地域経済や観光の発展、救急医療体制強化の面からも早期整備が必要」との声
が相次ぎ、一日も早い全線開通に向けて沿線地域が結束することを確認しました。

また懇談会後には国土交通省など関係省庁への要望活動を行いました。

○「見て、泊まって、食べて」酒田刺獅子十六発見伝 酒田まちあるきスタンプラ
リー開催！

酒田市では、平成28年1月14日～31日まで「酒田獅子十六発見伝 酒田まちある
きスタンプラリー」を開催しています。スタンプラリー対象店にて「宿泊」「食
事」をすると、「酒田獅子ポイント」スタンプをもらえます。4か所巡って、氏名、
住所等をご記入のうえ、応募用紙を投函。抽選で食事補助券、宿泊補助券等の豪華
商品がもらえます。

詳細は酒田市役所ホームページにて

[http://www.city.sakata.lg.jp/ou/shoko/kankoshinko/kankokikaku/stamp%20rally2
015.html](http://www.city.sakata.lg.jp/ou/shoko/kankoshinko/kankokikaku/stamp%20rally2015.html)

■ 姫川港ニ ュ ー ス _____

○ 糸魚川ジオステーション「ジオパル」2～3月イベントのご案内

糸魚川ジオステーション“ジオパル”は、糸魚川市が北陸新幹線糸魚川駅高架下に建設した
「糸魚川世界ジオパーク」の魅力発信基地であり、また、鉄道実車両、模型、プラレールに親
しむこと、楽しむことのできる交流施設です。

<イベント紹介>

★こども歴史教室 ～縄文人と生活と知恵～

日 時 2月20日(土)10:00～11:30

参加費 無料

定 員 20人程度

内 容 ヒスイ文化を担った当時の縄文人の生活や知恵を遺跡からの出土品等を観察しな
がら楽しく学びます。

資 料 縄文土器・磨製石斧・土偶・玉類・衣装(復元品)

講 師 糸魚川市文化振興課 木島勉 氏

★糸魚川ポプリでにおい袋を作ろう！

日 時 2月28日(日)10:00～12:00

参加費 無料

定 員 20人程度

内 容 糸魚川のポプリを使ってにおい袋を作ります。

主 催 東京大学庭師倶楽部

※問合せ先 糸魚川市交流観光課ジオパーク推進室 025-552-1511

<http://www.itoigawa-kanko.net/>

■ 境港ニ ュ ー ス —————

○ 境港市出身 水木しげるさん顕彰、新年度事業展開へ

鳥取県は新年度、2015年11月に死去した境港市出身の漫画家、水木しげるさんを顕彰し功績を振り返る事業を展開する。一周忌に合わせて県内3会場で「ありがとう水木先生企画展」を開催予定している。

水木さんの一周忌に合わせて実施する企画展は水木プロダクションとタイアップし、パネル展示などで水木さんの作品の魅力や歩みを伝える。16年12月～17年2月に夢みなとタワー（同市）、倉吉博物館（倉吉市）、県立博物館（鳥取市）の3会場を巡回する。

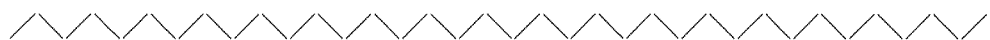
■ 編 集 後 記 —————

最後まで読んでいただきありがとうございます。

この編集後記を書いているデスクの窓からは、小雪がちらついています。立春を過ぎたとはいえ、東北の春はまだまだ遠いと思わざるを得ません。そんな中にはありますが、山形県酒田市から「雛人形」の話題を。2月20日から4月3日まで毎年恒例の「酒田雛街道～湊・酒田の雛めぐり～」が始まります。かつて江戸や大坂との交易でたいそう賑わった湊町酒田には、由緒ある雛人形が数多く残され、大切に保管されてきました。早春のこの時期、これらのお雛様を市内の観光施設で一斉に展示してきた「酒田雛街道」が20周年を迎えます。市内の旧家や商店などでも代々伝わる雛人形や創作人形のほか、珍しい品、懐かしい品を展示して、ひなまつりを華やかに盛り上げます。施設によっては展示期間が異なるので、事前に酒田市のホームページでチェックしてから足をお運びください。

「湊町さかた」でお待ちしています。

それでは、次回の PORTTOWN MAGAZINE をお楽しみに。



PORTTOWN MAGAZINE

配信日 毎月15日

